



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年6月4日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

オリンピック、
認知症に
なる

新連載「オリンピック、認知症になる」 7日(水)＝総合面



この10年ほどの間に、認知症になった本人が経験や思いを語るようになりました。周りの正しい理解や支援があれば、自分らしく暮らしていただくことが多くの当事者から発信されています。

1976年のモントリオール

五輪でボート競技（現ローイング）に出場した柿下秋男さん（69）＝写真＝も、経験を伝えている一人です。連載では、柿下さんが認知症とどのように向き合い、苦境をどう乗り越えていったかを伝えていきます。



新連載「マネー&ライフ」 6日(火)＝総合面

資産運用や相続などセカンドライフを楽しく過ごすために欠かせない「お金」の話題を、さまざまな分野のプロが週替わりでやさしく解説する「マネー&ライフ」が始まります。ファイナンシャル

プランナー、岩城みずほさんの「人生に必要な『おカネの設計』」では、退職金の運用や年金の仕組みなどシニア世代によくあるお金の悩みについて、具体例を挙げて分かりやすく説明します。



写真はイメージです



迫る

被爆と差別の半生

在日韓国人2世の李鐘根（イ・ジョン・グン）さん＝写真＝は、子どもの頃から差別を受けてきました。日本人の通名を名乗り、職を求めるときも日本人として国鉄（当時）に書類を出し、広島駅近くの機関区で見習いとして採用されました。

広島原爆で被爆し、ひどいやけどに苦しみました。職場に復帰した後は、同僚から「（原爆症が）うつる」と距離を置かれました。李さんは、在日韓国人への差別、そして被爆者への差別という二重差別に苦しまなければならなかったの

4日(日) 1、3面

です。戦後も自らのルーツや、被爆の事実を明かさずに暮らしてきたのですが、戦後60年以上もたつてから証言に踏み切りました。李さんは22年7月に93歳で亡くなりましたが、家族や被爆者らの証言をもとに、李さんの半生に迫ります。

特集 **ワイド**

西加奈子さんが語るがん治療の日々

6日(火)＝夕刊特集ワイド



作家の西加奈子さん＝写真＝が、カナダでの乳がん治療の日々をつづった「くもをさがす」に共感が広がっています。4月に発売されると、発行部数は既に21万部。著者初のノンフィクションからは、

「生」への肯定感があふれています。異国で病と向き合っていたのでしょうか。3年間の海外生活を終えた西さんに、会いに行きました。

竹橋の窓辺から

編集後記



将棋の第81期名人戦七番勝負で藤井聡太王将（20）が渡辺明名人（39）を破り、史上最年少で名人位を獲得、7冠を達成しました。毎日新聞では6月から毎週紙面で主催以外の棋戦も手厚く取り上げるほか、「宅配購読者無料プラン」に登録いただければ、随時開催する将棋関連のオンラインイベントにもご招待します。この機会にぜひご登録ください。



MAINICHI
新毎日

（渡部竜之介）